

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		砂防協会参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030103000351	
						単独/補助	単独	所属課	060101	
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		建設課		
総合計画の施策名		0301 防災・消防対策の充実				市長マニフェスト		グループ		
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり				未来PJ事業		管理グループ		
施策名		01 防災・消防対策の充実				合併建設計画事業				
手段名		03 ③消防防災拠点の確立				事業期間				
		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (年度~)				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
01	08	01	01	02	00		土木総務事業			
法令根拠		茨城県砂防協会規約				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>砂防事業並びに急傾斜地崩壊対策事業等の促進を図り、公共の安全と福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防事業を促進するために必要な視察、調査等を実施 ・その他、本会の目的を達成するために必要な事業を行うこと <p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>研修会及び要望活動</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>負担金</p>	<p>理事会、通常総会、視察研修会、要望活動、その他説明会等への出席</p> <p>理事会・総会・講演会 5/29 2名出席 役員改選</p> <p>全国大会 11/20 2名出席</p> <p>視察研修 1/15 5名出席 (建設課3名、防災課2名)</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
茨城県支部総会 全国砂防協会総会 視察研修	総会への参加	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	負担金額	千円	71.00	71.00	67.00	71.00	71.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
市町村等	茨城県支部	団体	28.00	28.00	28.00	28.00	28.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
住民の生活安全と関係地域の発展を図る	整備要望活動	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	71	71	67	0
	事業費計 (A)	71	71	67	0
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)	01年度事業費 予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金	71	67
合計	71	67

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			
--	--	--	--

事務事業名	砂防協会参画事業	事務事業No.	30103000351	所属課	建設課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 治水、砂防等の事業促進を図ることを目的として実施
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 近年の豪雨による土砂災害が多発し、特に広島市の災害がマサ土という風化した御影石層土質と砂防施設の少なさの指摘があったため、加波山山系が同様の土質であるため、土砂災害ハザードマップの警戒区域等で生活する市民より、砂防施設の状態・増設等について問い合わせがある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 財源確保などを目的とした県、国への働きかけにより砂防施設の整備につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 整備促進に係る費用負担であるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 今後も施設の整備状況・実態を訴えていく要望活動が必要であるが、財政事情により現状では向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を促進する手段がなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 河川協会等目的に類似団体があるが県側で分かれている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 低額負担金・事業実施割になっている為削減の余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 参画事業であるので問題なし。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 広島土砂災害のあと同質地質の真砂土系で加波山系にたいして、不安を訴える市民に対し、砂防堰堤施設建設、砂防指定河川の改修等を繰返し要望しているがなかなか進捗が見られなかったが、茨城県土木部長に対し筑西土木協議会要望活動において木植沢、男女川の現状を訴えた結果、29年度に調査費の予算を配慮してくれることになった。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 -																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--